

青少年教育・体験活動 ボランティア養成フォローアップ研修

令和元年9月7（土）～8日（日）

【目的】

自然体験活動の指導者に求められる基本的な知識・技能の習得を通して、「青少年教育・体験活動ボランティア養成研修」を受講した者の資質・能力を高める。

なお、本研修を修了し、認定試験に合格した者は、「自然体験活動指導者」（NEALリーダー）として登録することができる。

【参加者】5名

【プログラムの内容】

1日目

- 10:30 開講式、ガイダンスⅠ
- 11:00 アイスブレイク
- 13:00 講義・演習「自然体験活動の指導」
- 14:30 講義・演習「自然体験活動の技術」
- 19:30 講義「対象者理解」

2日目

- 9:30 講義「自然体験活動の特質」
- 13:45 ガイダンスⅡ
- 14:15 認定試験
- 15:00 閉講式

講義「ガイダンス」



NEALの説明を聞いたのち、コミュニケーションを円滑にするための活動をし、交流の意味を体験的に学びました。



参加者は「自分からみた自分」と「周囲から見た自分」を分けながらおたがいを理解する過程で、様々な視点を学びました。

講義・演習「自然体験活動の指導」



指導者としての立ち振る舞いとして、「指導（関わり方）の幅」、指導時に留意することなどを、野外炊飯を基に情報や考えを出し合い、まとめていき学びました。

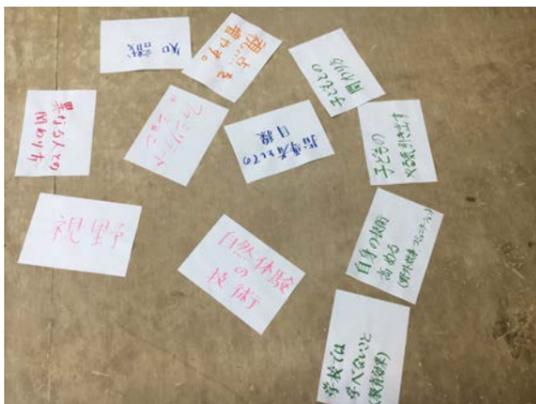
講義「自然体験活動の特質」



深坂自然の森 森の家所長の井上さんにお越しいただき、自然体験活動指導者に必要な資質を体験の中で教えていただきました。

参加者はこの講習が最終終着点ではなく通過点であることを知り、その深さを学習しました。

講義・演習「自然体験活動の技術」



参加者同士がまず「何を学びに来たのか」を出し合い、それについて話をしながら、それがリーダーに必要なスキルのうち部である事を認識した。



講義「対象者理解」



キッズコーチングのエキスパートの黒田さんにお越しいただき、自分たちを理解しながらキッズコーチングの考え方にもとづいて対象を理解する事を学びました。

【参加者の声】

- 子どもの特性や関わり方、自分についてなど、人とかかわるとき根本を分かりやすく教えていただき興味深かった。
- 普段見えていないことが多いと気づいた。指導者としてみるべきこと、考えるべきことを知った。

【成果と課題】

今回、講師の先生方と打合せを行い、参加者の現状に合った内容での講義・演習の実施を行えた。また、「指導者」としてのスキルのみでなく、「自然体験活動は楽しい」と思ってもらえた事は成果である。

課題は参加者数である。毎年ボランティア研修に参加した学生を対象とし、NEALの必要性を説明しているが、「子ども対象のボランティア」する機会が少ないのが原因ではないかと考える。来年度の事業計画の際に、教育事業のボランティアを体験したのちにNEALとなるよう時期の調整を行う必要がある。